

馬場ひでゆきの活動日誌 No.16

この日誌が届く頃には、私の一般質問も終わっているかと。ただ、3月4日から連続5日間、総務文教委員会が開催されます。私は、息をつく時間もなく質疑の準備に追われているはずですが、でも、あと一カ月頑張れば、次は高田公園のお花見です。

灯の回廊を巡る

2月17日、たくさんのキャンドルや雪灯籠が冬の山里を照らす「灯（ともしび）の回廊」が開催され、私は牧区・三和区・浦川原区の会場を廻りました。牧区の会場では、イタヤカエデから採取した樹液でメープルシロップ作りに取り組んでいる梨本ご夫妻が「樹液コーヒー」のお店を出されてました。樹液の入ったコーヒーは自然の甘味で美味でした。



牧区コミュニティプラザにあった作品

吉川特別高等支援学校生のハッピーカフェ

21日は、吉川特別高等支援学校の「ハッピーカフェ」に橋爪市議とともにお邪魔しました。このカフェは、生徒の皆さんが店を開き、校外からのお客さんを招きながら、職業実習をする場です。

生徒さんたちが客から注文を聞いて、注文に応じて品物を提供し、お金をいただく。そういう一連の接客業務を学ぶわけです。私はコーヒー、橋爪市議



はカプチーノをいただきました（ウラ面にも記事）。

補正予算案可決

県議会が始まりました。22日は、歳入歳出にそれぞれ751億3200万円を追加する補正予算案が可決されました。能登半島地震による住宅応急修理で最大100万円を県が上乗せ支援する事業に10億8095万円、被災者の生活再建に向け市町村が交付する支援金の一

高田地区で県政報告会を開きます

3月16日（土）午後1時半から当事務所で「高田のまちのおしゃべり会」と題して私の県政報告会を開きます。議員としての一年間の活動報告だけでなく、ちよっとしたお楽しみタイムもあります。

ぜひ高田にお住まいの方で興味がありましたらご参加ください。当日は平良木市議からも市政報告をしていただく予定です。但し、当事務所の広さの都合から、申し込み制にさせていただきます。事務所の電話が留守の時は留守番電話にお名前とお電話番号をお伝え下さい。お願いします。

馬場ひでゆきの県政報告会

高田のまちのおしゃべり会

開催日時 2024年3月16日（土）13:00~15:00
場所 馬場ひでゆき事務所（本町3-3-3ダイアパレス高田武番館2階）
内容 ○馬場県議のこの1年間の活動報告と能登地震の話、県議としての苦労話など
○共産党ひららぎ哲也市議の市政報告
○皆さんとおしゃべり
○腹話術や歌声喫茶などお楽しみタイム
申し込み お電話（025-546-7110）またはメール（kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp）でお願いします

当日は、ひららぎ哲也市議からの市政報告もあります。

昨年の県議選では、選挙初心者の馬場に「選挙の心構え」を教えたことで、心強い市議のひとりです。現在も市政と県政を結びつける力になっていただいています。

最近「地震」「裏金」「戦争」など暗い話題ばかり。そんな中で県政報告なんて、すごく堅苦しくなるんじゃないのって思われますよね。でも今回は堅苦しいことは予定していません。お茶とお菓子をほおばりながら井戸端会議みたいになんて身近なこと話しましょう。一人の疑問や悩みは、大勢の疑問や悩みであることもあります。どうかいろいろお話を聞かせてください。当日はお楽しみタイムも予定しています。ほっこりした会です。ぜひぜひご参加ください！差し入れ大歓迎です。

主催：馬場ひでゆき県議を応援する会

まっすぐいっへん！グイカンエ

吉川高等特別支援学校は、知的障害の生徒さんを対象とする高等部の学校です。普通科内に職業学級と普通学級を設置し、生徒が職業自立・生活自立を目指すことを目的としています。カフェを出たあと、校長先生に学校の中を案内していただきました。

普通学級の教室は小さくて二つの机が置かれていました。普通学級では、福祉作業所等での就労を目指した学習を行います。個々の特性に応じた指導を重視し、少人数指導や個別指導に力を入れているとのことでした。



職業学級の教室には、3Dプリンターやドローンが置かれて

いるところもあれば、清掃用具が並んでいる教室もありました。職業学級では、一般企業での就労を目指し、デュアルシステム・現場実習で、継続的に事業所に通い、就労体験を積み、卒業後の職業自立と社会参加に必要な力を養うとのことでした。途中で、カフェにきた数名の卒業生とお話できました。そのうちの一人Fさんから、学校生活を綴った手記をいただき

きました。その手記には、1年時には不登校気味だったこと、2年時に宿題で作った俳句が賞をとって自信を持ち、学校に通いだすようになったことなどが描かれ、しかも心の動きが見事に表現されていて感動しました。在校生や卒業生のイキイキとした様子から、この学校が一人一人の生徒を大事にしているということがよくわかりました。ステキな学校です。ただ、設立当時と比較して、最近は志願生徒がやや減少傾向にあるとのこと。学校の様子を広めていくお手伝いをしようと思います。

予算案の注目ポイント！

●被災した学校施設の復旧工事
私の高校時代の同級生が、新潟工業高校に勤めています。彼からは、能登半島地震で大変な被害に遭ったと聞いていました。

円、同6年度の当初予算で約10億7700万円を災害復旧費用として計上しました
こういう話を聞くと、県予算も身近なものに感じることができますね。早い復旧を望みます。

県作成の資料によれば、新潟工業高校では床の沈下により大体育館や柔剣道場が使用不可になり、部活動は他校の体育館を使用して実施、卒業式・入学式は市の施設を利用しての実施を余儀なくされました。新潟江南高校、新潟商業高校も同様の被害を被りました。

●トキエアに3億円の補助金？
県は、令和5年度の補正予算で格安航空会社トキエアへの補助金3億円を追加計上します（2月29日の議会で提案予定）。これは、県が策定した「未来創造産業立地促進補助金」制度を活用するものです。

これらの工事のため、県は、令和5年度補正予算で660万

トキエアは、県も後押しする航空会社ですが、就航が遅れ、その間収入がまったたくなく経費がかさみ財務状況が不安です。

財務状況の資料提出を県に求めましたが、県は要綱の基準に該当する限り、それは不要との立場です。県を信じてほしいと言われてもなあと思います。

コーナー Break

県議会での私の実質的なデビュー戦は、昨年6月定例会の総務文教委員会での質疑でした。

最初なので意気揚々として質問をしようとしたら、他の議員から「手を上げろ」「委員長」と言って許可を求めろみたいなことを言われて出鼻をくじられました。法廷では手も上げずに質問するのが当然だったので、委員会でも法廷と同じようにやろうとしました。それが議会のルールに反したらしい。

今振り返れば、注意されるのも当然です。法廷では、発言者が原告側・被告側と限定されている、他方、委員会には議員と県の説明要員がいてその人数は20名近くになります。発言したいなら、その気持ちが委員長に明白に伝わるように「委員長」と挙手することが必要で、「郷に入れば郷に従え」です。

最近ようやく委員会での質問にも慣れてきました。ところが、先日、法廷で尋問する機会がありました。委員会に慣れてしまったのか、今度は法廷で「委員長」と言って手を上げそうになってしまいました。気をつけます。



発行責任者：馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイアパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babaiheyuki@wind.ocn.ne.jp